

## 第2次安曇野市文化振興計画(案)についての意見と回答

- 1 対象 市内に住所を有するか、通勤、通学する人。または市内で事業を行う個人や団体など。  
 2 募集期間 平成29年12月6日(水)～平成30年1月5日(金)  
 3 公表資料 第2次安曇野市文化振興計画(案)  
 4 募集結果 26件(3個人、2団体) ※うち3件は誤字等の指摘であったため、割愛しています。

No.	頁	章・項目	意見・質問(要約)	回答
1	28	第5章1	情報発信のあり方について、(p.36)「(1)文化振興の主役は市民一人一人です」とあります。そのためには(p.37)「主役である市民の声が反映できるよう努めます」「情報や意見の交換ができる場と機会を設けます」が重要だと思います。(p.28)「施策3」の「取り組み方針②」に「市民向けの情報発信のあり方について研究します」とありますので、具体的施策として示されることを期待します。	情報発信のあり方について、広報紙・コミュニティFM・インターネットの活用など、市民向けに適した方法を研究する旨の一文を追加します。
2	36	第5章1	学校の責務について、「(2)団体は文化振興を支えます」の中に「学校は…また、施設、人材などを提供し、市民の文化活動を支援します」とあります。前段は学校としての本務だと思えますが、後段については、関係者の助力なしでは無理です。	施設や人材の「提供」という文章を改め、施設や人材の「活用」や市民との「協働」について触れた内容にします。
3	14,29,45	第3章3 第4章2	「お船祭り」と「御船祭り」の表記の混在	オフネ祭りについては、一般的には「お船祭り」の表記を用いますが、特定の地域のお祭りの名称に関しては「御船」を用いる場合があります。該当の箇所については、穂高神社の「御船祭り」について触れているため、このような混在した表記となっています。これについては、表記についての注釈を掲載します。
4	21	第4章1	実施目標中、短期、中長期について、すべてを同じ程度推進するのは難しいでしょうから、誰もが向上したことを実感できる項目があったらいいように思いますので、いくつかを重点化して表記してはどうか。	文化施策については、入場者数や満足度の高低で評価することも考えられますが、このような尺度では測りきれないことが多く、このたびの計画では目標値の設定をしていません。実施目標として、施策の取り組み時期を掲載し、当計画の中間評価の項目としますので、現状のままの掲載とします。
5	24	第4章2	施策2「地域文化の継承」表中「地域文化の理解と尊重」の「現状と課題」について、周知方法の改善については、私立の美術館の講座等も広報で取り上げてほしい。	市内には私立の文化施設が複数あり、広報紙への情報掲載は難しいのが現状です。文化情報の発信のあり方については、引き続き研究していきます。

No.	頁	章・項目	意見・質問(要約)	回答
6	26	第4章2	「豊かな感性や想像力を…」とあるが、「豊かな感性や創造力を…」のほうが良いのではないか。	「創造」だと「作り出す」の意味合いとなり範囲が狭まってしまうので、頭の中に思い描く力を養うことを重視して、「想像力」のままとします。
7	31	第4章2	施策1「地域文化を支える人材の育成」表中の「専門的な人材の確保」について、「専門的な正規職員の配置、育成」をぜひ推進して欲しい。	「専門的な正規職員の配置」については、安曇野市の文化振興を推進する上の前提として重要な項目です。「地域文化を支える人材の育成」の取り組み方針②のとおり、取り組んでいきます。
8	8,34,38	アンケートより1,2,3	市民アンケートについて、平成28年3月実施とあるが、アンケート調査の調査期間には、平成27年10月2日～10月20日となっている。また、各アンケート調査期日と日付が異なっている。	ご指摘のとおり、調査・集計・評価の期日が混在していますので、アンケート調査の集計期日に統一します。
9	38	アンケートより3	安曇野市生涯学習計画に関するアンケートについて、スポーツの情報が混在している。この冊子は文化振興に関わるものなので、「文化」と「スポーツ」を分けて(あるいは関係のないものは削除して)それぞれ満足度の高低で並べてはどうか。	当該アンケートは「生涯学習」に関するものとして調査したものです。「文化」と関連の無い分野についての掲載がありますが、アンケート調査の趣旨を生かすため全項目掲載とします。
10	-	-	画家 小林邦さんの展示会をやってほしい。	計画書に個別具体的な事業については掲載できませんが、p.23「先人の顕彰」、p.28「文化芸術活動の推進」の項目などにおいて、市民の皆さんの要望を踏まえた事業の実施を記載しています。
11	-	-	拓本・写真家 下田忠寿さんの所蔵品の保存と書籍化をしてほしい。	同上 作品の収集については、p.23「先人の顕彰」の現状と課題に記載しています。
12	-	-	安曇野出身物故作家の大々的な作品展示と紹介をしてほしい。	同上
13	-	-	県内美術館どうしの所蔵作品の交換展示。また、現役地域作家の紹介と展示をしてほしい。	p.33「文化資源の発掘と活用」の取り組み方針③に、県内諸機関との連携を記載しています。 P.23「先人の顕彰」の取り組み方針③に、現在活躍している安曇野ゆかりの人物の支援について記載しています。
14	-	-	安曇野の創作環境は、個人として自由に活動・発表ができるので、とてもいいと感じます。	p.25「文化芸術施設の整備・充実」取り組み方針③にあるように誰もが気軽に文化施設を利用でき、芸術文化に親しめる環境整備に努めます。

No.	頁	章・項目	意見・質問(要約)	回答
15	-	-	サテライト大学に美術・芸術系の大学を希望します。長期的にアピールできると思います。安曇野がより文化的な街として発展して欲しいです。	大学のサテライトキャンパスに関しては、現在検討中の案件です。P.33「文化資源の発掘と活用」取り組み方針③にあるように、多様な文化施策を図るため大学などの諸機関との連携を図っていきます。
16	-	-	海外の友好都市との交流で、日本の文化を伝える、もしくはその逆で海外の文化を伝えてもらえるような交流事業があったらいいと思う。	友好都市との交流については、p.33「文化資源の発掘と活用」に掲載しています。
17	23	第4章2	施策1「先人の顕彰」の取り組み方針③に「先人の掘り起こし…」とあるが、「先人の偉業(もしくは業績)の掘り起こし…」などとした方がわかり易い。	ご指摘のとおり、「先人の業績の掘り起こし…」とします。
18	28	第4章2	施策3「文化芸術活動の推進」の施策例について、「特定文化分野に偏ることのないバランスの良い事業実施」とありますが、そのあとの事例が能楽鑑賞会、熊井啓監督作品の上映会…と、きわめて特色ある分野に限られている事例がならび、違和感を受けるので、「多岐文化分野にわたる広視野に立脚した事業の実施」などと表現したほうがよいと思う。	「信州安曇野能楽鑑賞会・熊井啓監督作品上映会」については、「先人の顕彰」事業の側面もありますので、該当箇所へ移動し、協働による事業実施の事例として、早春賦音楽祭・童謡祭りを掲載します。施策例の文章については、原文のままとします。
19	2	第1章2	「社会状況の変化とともに、住民の価値観も多様化し続けています。」とあるが、「少子高齢化や趣味嗜好の細分化などの社会状況の変化とともに、住民の価値観も多様化し続けています。」としてはどうか。	ご指摘のとおり、「少子高齢化など」の一文を追加します。
20	2	第1章2	「～心の充足感に繋がる文化振興～」とあるが、「～心の充足感に繋がる、地域の特性を生かした文化振興～」としてはどうか。	ご指摘のとおり、「地域の特性を生かした」の一文を追加します。
21	16	第3章4	冒頭文中に「～もっと多くを学ぶ必要があります。」とあるが、「～もっと多くを顕彰する必要があります」としてはどうか。	「先人たちから」という文章を受けていますので、「学ぶ必要があります」のままとします。
22	37	第5章2	評価は非常に重要である。文化政策は長期的視点に立ちアウトカム(芸術に触れることによる生活の質の向上等)を視野に入れるべきで、アウトプット(入館者数、事業収入等)の側面だけを見るべきではない。適切な検証および評価となるよう期待する。 また、単なるアンケートやモニタリング以外に、市民の中に眠っている意見・批判・提案をていねいに掘り起こす仕組みが必要というのをよく聞く。ぜひ様々な意見を広く聞く方法を見出してほしい。	ご指摘の点につきましては、ご意見としてお伺いし、今後の施策展開の参考にさせていただきます。

No.	頁	章・項目	意見・質問(要約)	回答
23	-	-	各施策の取り組みとして、具体的な学習の機会や、市民の関心を喚起していく講座の開催は素晴らしく、ぜひ継続実現していただきたい。また、36・37ページにあるように、市民との協働により本計画推進していく点は非常に重要だ。しかし、それらを充実させるためには、大きな戦略としての広報活動が不足していると感じる。34ページのアンケート結果に顕著にあらわれていよう。情報発信を積極的に行う等の内容を盛り込んではどうか。	No.1のご意見への回答と同様、効果的な情報発信の方法を研究します。